

■履修モデル: 情報に関する幅広い知識を身につけ社会で仕事がしたい。

- ・情報系科目を中心にしながら、建築系科目、環境系科目や福祉・心理関連分野等を広く履修する。
- ・情報系学部・学科への編入学をめざす場合は、更なる語学の履修や志望学科の入試科目に向けた対策を早めに行うことが望ましい。

【履修例】

区分		1年次	2年次	
		科目名	科目名	
基礎科目	語学基礎	・語学 I (英語、ドイツ語、フランス語、中国語)		
	専修基礎	・生活科学概論		
共通科目		・情報と社会 ・情報処理実習 I・II ・心理学 ・実用英語	・プログラミング基礎 ・英語講読 ・自然と科学  など	
専修科目	生活基礎		・住生活論 ・地域づくり実践(2年次)  生活経営  など	
	福祉・心理関連分野 (専修第一分野)		・認知の科学 ・心理学概論 ・人間関係論 ・心理学研究法  社会心理学 ・行動の理論 ・心理学基礎実験  など	
	居住環境関連分野 (専修第二分野)	建築系科目	・インテリアデザイン ・居住福祉論 (・建築製図基礎)	・住環境計画 ・地域環境学 (・構造力学 I)  など
		環境系科目	適宜	
		その他	・情報技術論 ・数理科学 ・統計学 ・日本経済論 ・居住環境基礎(1年次)	・社会調査論 ・地域政策論 I ・化学 ・経済原論  など
	演習			・居住環境特別演習

(注意)

- この履修モデルはあくまで参考例として示すものであり、この通りに履修する必要はない。  
卒業要件や資格取得要件を念頭に、時間割とシラバスを確認の上、履修科目を選択すること。  
1年間に履修できる単位数は50単位までであるため、計画的に履修すること。  
履修申告書を提出する前に、クラス担任(教員)のチェックを受けること。